



補習校だより

平成26年度 第17号

平成26年8月30日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

土曜日 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

防災

校長 永井 晋

9月1日は「防災の日」です。1923年9月1日の11時58分に関東地方を中心にマグニチュード7.9の大地震が発生しました。190万人が被災し、10万5千人余りが死亡あるいは行方不明となり、全半壊、火事による焼失、津波等による埋没・流失等で37万棟以上の建物が被害にあいました。正午前の時間帯だったことから火事も多く発生し、地震の被害だけにとどまりませんでした。死者の数だけで比べると東日本大震災の5倍以上という悲惨な出来事です。そこで、9月1日を「防災の日」と名付け、台風高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備することとしました。そのため、多くの地方自治体では9月1日に防災訓練等を行っています。学校等でも、避難訓練を行うところが多く、関東近辺の小中学校は、「東海沖地震警戒宣言」が発令されたことを想定し、集団下校等の防災訓練を行います。

マイアミ補習校でも、本日避難訓練を行います。年間3回内の火災を想定した避難訓練です。マイアミでは地震が起きる可能性は低いと思いますが、火災はいつ起きるか分かりません。発見から、周知、消火、避難、点呼ときちんとした方法を覚え、確認し、訓練することが必要です。

日本では特に東日本大震災以降に、子どもたち（小学校高学年から高校生）の力も地域において大切な力だという認識が変わってきています。以前はまず避難させることを考えていましたが、最近は災害の復旧（消火や避難の助けも）の大きな戦力としてとらえています。ですから地域の防災訓練等では非難の対象ではなく、大人の手助けをする役割についています。アメリカではまだまだ守られるべき対象と捉えられていますが、日本のことを知っている補習校の子供達は何かの際に「自分は何が出来るのか」を考えられる子どもでいて欲しいと考えています。

